

5-2 東海地方における地震活動の変化（1991年11月～1996年10月）

Change of Seismic Activity in the Tokai District (November, 1991-October, 1996)

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division

Japan Meteorological Agency

第1図(1)と(2)は東海地方における最近5年間のマグニチュード(M) 3.0以上、深さ60km以浅の地震の活動の変化を示したものである。これらの図に示したA, B, Cの3領域の地震活動に見られる主な変化は次の通りである。

A 領域：この領域の陸域の部分においては、定常的に地震が発生している。7月頃から琵琶湖の北東部において地震活動が活発になったため、地震回数が増加したが、また、元に戻りつつあるように見える。

B領域：1996年5月27日の静岡県中部のM4.2の地震と10月5日のM4.4の地震の前はM3以上の地震活動を見ると、その周辺で地震活動がなかった。1996年5月～10月の期間にこの領域で発生した地震個数は6個で、1989年からの累計は88個である^{*1)}。

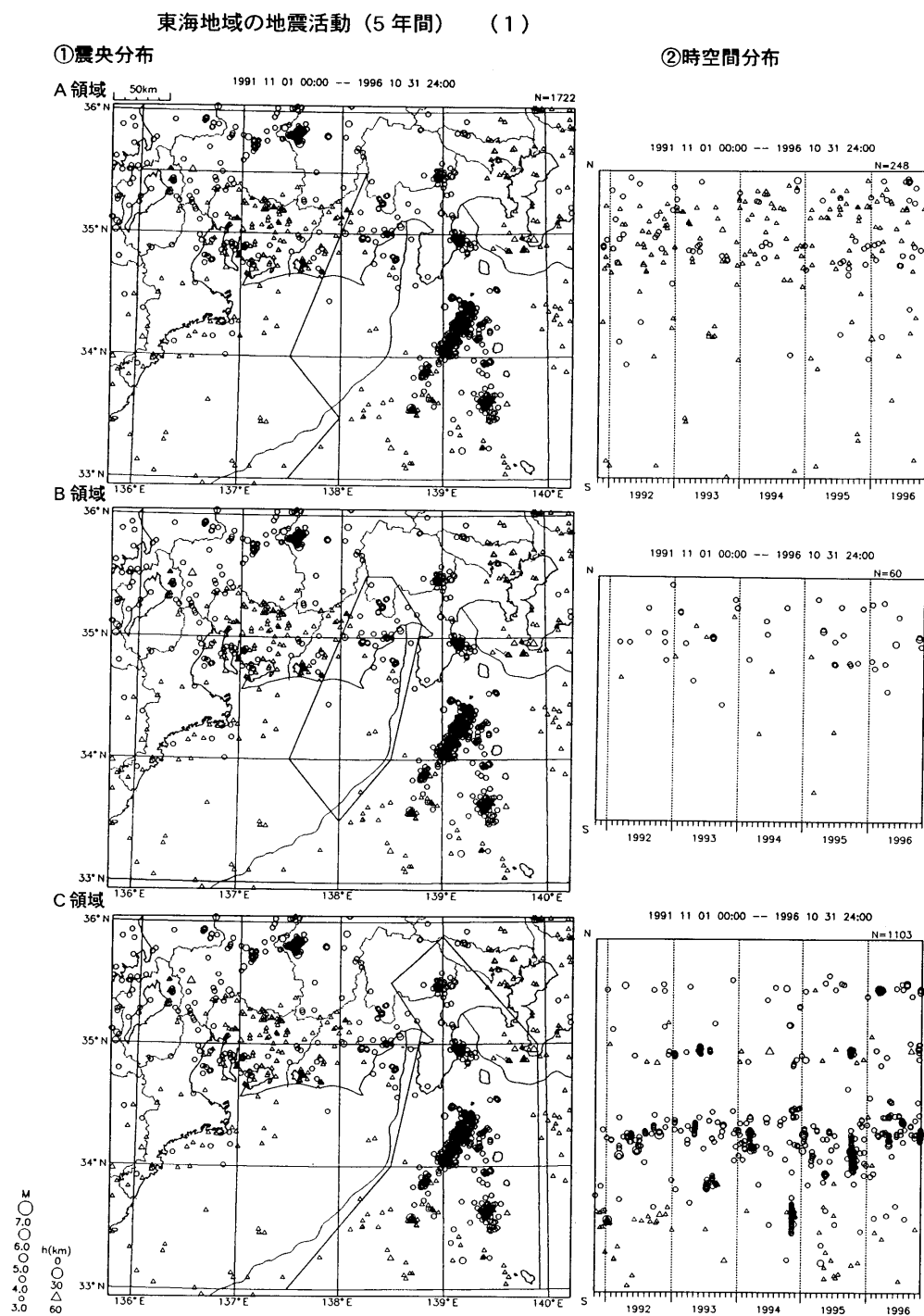
C領域：1995年9月～10月の伊豆半島東方沖の群発地震活動、10月の伊豆半島南方沖（神津島近海）の群発地震活動により、地震回数が急激に増加したが、その後は通常の状態に戻っていたが、本年10月から伊豆半島東方沖、および、神津島・新島付近において地震活動が活発になった（本巻別項の伊豆半島およびその周辺の地震活動の「神津島・新島付近の地震活動」参照）。

参 考 文 献

- 1) 気象庁地震予知情報課：東海地方における地震活動の変化（1991年5月～1996年5月）、連絡会報, 56（1996）, 339-345.

* 1) これら82個の地震は以下の通り。1989年7月から1996年4月までの地震は、連絡会報第44～56巻「東海地方における地震活動の変化」の末尾に掲載。

No	年	月	日	時	分	M	深さ	最大震度	地域
83	1996	05	27	05	38	4.2	27.9		静岡県中部
84		06	13	17	32	3.2	20.6		静岡県中部
85		07	29	14	26	3.0	18.2		静岡県南西部
86		10	05	09	51	4.4	9.8	I	静岡県西部
87		10	06	21	56	3.9	29.9		静岡県西部
88		10	16	20	38	3.0	20.4		静岡県中部



第 1 図 東海地方の A, B, C 領域における最近 5 年間の地震活動 (1991 年 11 月 1 日 ~ 1996 年 10 月 31 日 : M3.0 以上, 深さ 60 km 以浅)

: 震央分布, : 時空間分布, : M - T 図, : 地震回数積算図

Fig. 1 Seismic Activity in the A, B, C regions in the Tokai District during 5 years (November 1, 1991 - October 31, 1996 : M 3.0, depth 60 km)

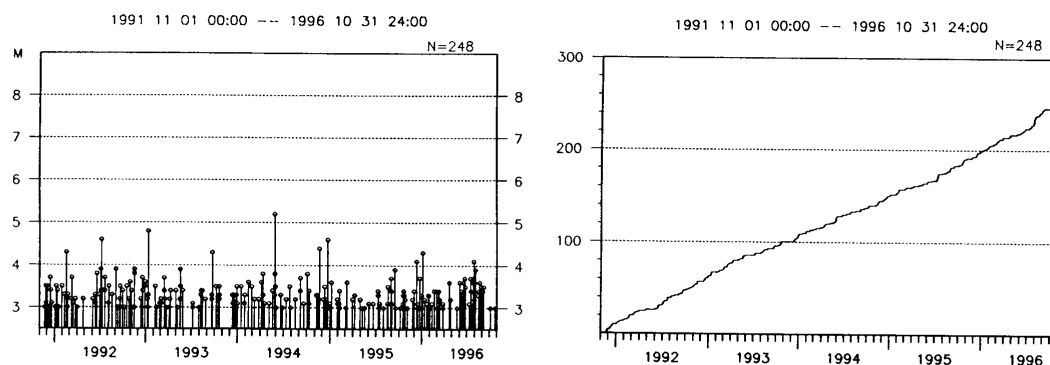
: Epicentral distribution, : space - time plot, : M - T diagram, : cumulative number of earthquakes.

東海地域の地震活動（5 年間）（2）

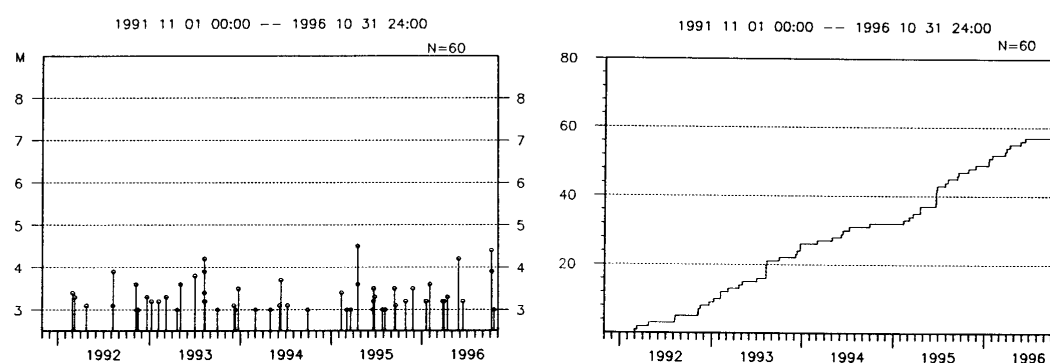
③M-T図

④地震積算回数

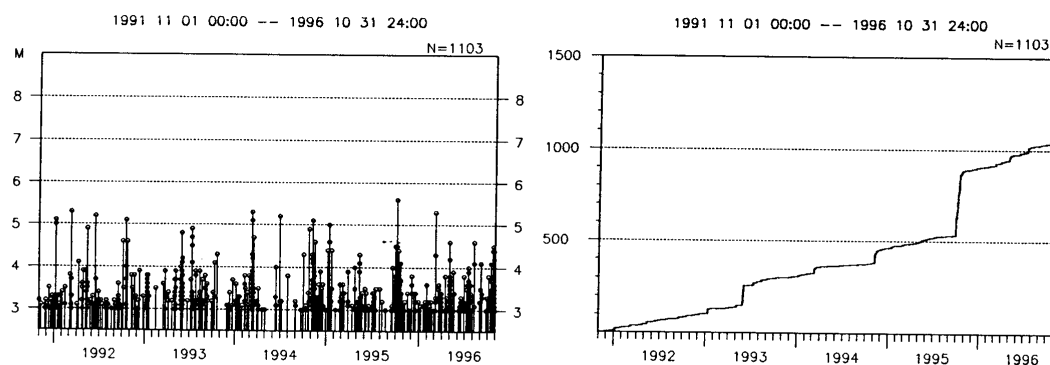
A領域



B領域



C領域



【暫定】 気象庁，東京大学，名古屋大学および防災科学技術研究所のデータを使用）

第1図 つづき

Fig. 1 (Continued)